

私の研究テーマ 2004, 5, 6 穴澤真由子

今までのパソコンを利用した授業実践をふりかえり、新たな利用方法を考える

8年前の内地留学より当時の様子から

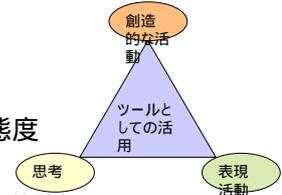
- 学校に数台しかパソコンがない。パソコンは高級品で慎重に扱われていた。
- それまでのMS-DOSの環境は専門的で画像・音などマルチメディア機能は一部のパソコンで専門家用に開発されていたが、Macが手ごろな値段で家庭用に販売されたことで私のような初心者でも簡単に楽しめるようになっていた。
- インターネットの始まりで、当時は現在のように学校に導入されていくとは考えられず、夢のような話ではないかと思っていた。

現在の学校現場の様子

- すべての学校にある程度の台数がそろい、インターネットでつながれている。昨年度市内40小中校でHPが立ち上がっている。
-
- 総合学習や各教科の中でメール・HP・発表に利用するなどその効果を生かして活用されている。
-
- 使い方も多様になり少人数教育など授業の形も変化してきているので、オリジナリティのある新しい活用を考えてみたい。

白子小の情報教育カリキュラム

- 情報活用の実践力
- 情報の科学的な理解
- 情報社会に参画する態度



- ・創造的な活動のための道具
- ・思考を深めるための道具
- ・表現活動を行うための道具

新しい活用のしかた - 魅力的な授業をめざして -

- 小学校のどんな教科で？
- どんな授業スタイルで？
- どんな目的で？
- 評価はどうするか？

これまでの資料収集

-
- ・総合学習の評価について(2003年下村・小山先生 学支研)
- ・「概念形成と評価」(1989年下村先生;三重大学教授)
- ・実践に学ぶ情報教育(赤堀侃司;東京工業大学教授)
- ・「教育学とテクノロジー」(三宅なほみ;中京大学教授)

現在気になるところ

放送大学「教育科学とテクノロジー」三宅先生(中京大学教授)の授業ビデオより

- BBSを利用した授業風景・小学校・大学

・認知科学の視点からのアプローチ

印象に残ったキーワード
外化・跡・認知的徒弟制・発達の最近接領域・コラボレーション
プロトコル分析

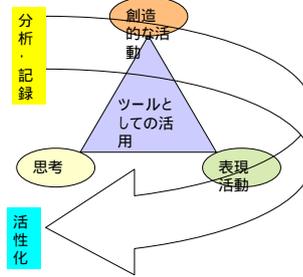
小学校でもやってみたらおもしろいかな？

■

今までにない活用法を考えると例えば・・・

分析・記録

活性化



- BBS 意見などをデジタル記録し交流に役立てる。

- 評価 子どもの活動を分析・記録する。

- 子どもの直接的な活動を活性化する目的

- 授業の中で使う
- 授業の他で使う